

日進市道の駅基本計画（案） 平成 30 年 2 月 概要版

基本構想（平成 29 年 2 月）

1. 計画地の位置

計画地は、日進市のほぼ中央に位置する尾三消防本部日進消防署より、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ西側付近（本郷町前田周辺）で、現況の土地利用は農地である



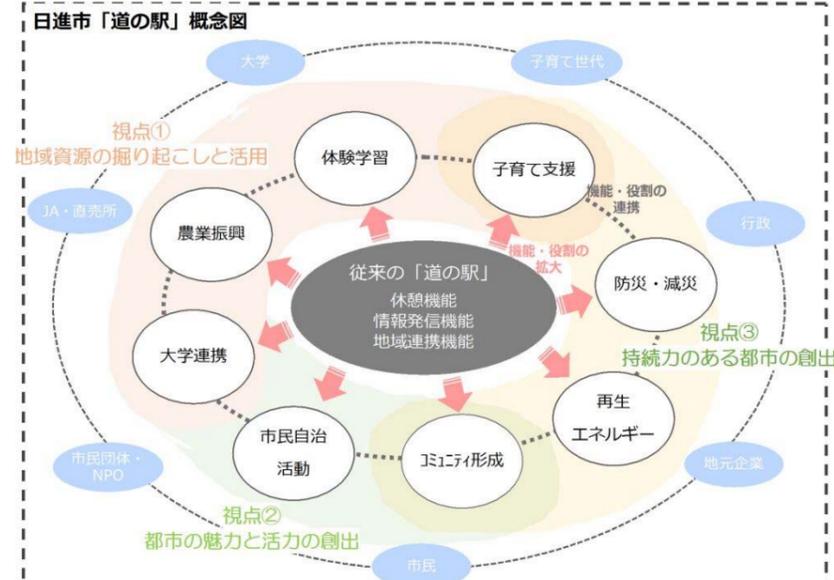
出典：国土地理院 地理院地図 0 150 300 600 900 1200メートル 1:10,000

2-1. 「道の駅」整備の基本方向

<日進市の地域活性化に向けた課題>

- ・福祉サービスの充実
- ・都市近郊における「農」の展開
- ・市民自治活動・地域交流・大学連携
- ・にぎわい創出に向けた拠点づくり
- ・シティプロモーション・情報発信の充実
- ・地域環境の保全
- ・防災・減災対策

整備コンセプト：
市民が集いにぎわい成長し都市をデザインする「道の駅」



日進市「道の駅」は、従来の機能を基盤に、日進市の個性や特性、大学や市民自治活動等の地域資源を活かした、地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域の拠点としての整備を目指す

2-2. 重点的に取り組むべき地域課題

日進市の課題のうち、「道の駅」で重点的に取り組むべき地域課題は4つあり、これらの地域課題の解決を図る

- ①子育て支援
- ②防災・減災
- ③農業振興
- ④市民まつり等

※詳細は基本計画（案）を参照

3. 導入機能・施設

整備コンセプト等を踏まえ、導入機能と施設を想定

<道の駅の機能と施設>



防災機能

- ①**防災施設**
 - 暮らしの安全を支える防災拠点
 - 救助救援場所
 - 防災ヘリポート
 - 防災倉庫
 - 耐震性貯水槽 等

【市民活動イメージ】

- ・防災倉庫の前や広場で、警察・消防・自衛隊による防災イベントや活動 PR イベントを実施する
- ・平常時の防災学習の場として、大学と協力して親子イベントを開催し、子ども向けの救急救命講習会を実施する

その他機能

- ①**くるりんばすのバス停施設**
- ②**その他施設**
 - 敷地内道路・植栽帯・自転車置場等外構、受水・電気室等の附帯施設を整備する
 - 駐車場等において、市民まつり(産業まつり)やにっしん夢まつりを開催できるように検討する
 - 災害用のマンホールトイレ等を整備する

休憩機能

- ①**駐車場施設**
 - すべての利用者にとって安全でわかりやすく、駐車しやすい駐車場
- ②**トイレ施設**
 - ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ
- ③**休憩施設**
 - ゆっくり休憩できる居心地の良さと利便性を兼ね備えたスペース

情報発信機能

- ①**情報発信施設**
 - 「道の駅」の情報、道路情報、市内の観光情報、災害情報、NPO 活動等を紹介するインフォメーション

地域連携機能

- ① **駐車場施設**
 - 子ども連れ等の地域連携機能の施設利用者に配慮したゆとりある駐車場
- ③ **飲食施設（レストラン、飲食コーナー）**
 - ゆっくりくつろげるおしゃれなカフェ・レストランや手軽な軽食コーナー

【市民活動イメージ】

- ・ゆっくりくつろげるおしゃれなレストランで、女性たちがランチやお茶を楽しみながら、友人と交流や親睦を深める
- ・子どもたちを「道の駅」の広場・公園で遊ばせ、親はその様子を見守りながら、食事をしたり休憩をとる

⑤ コミュニティ・交流施設

- 様々な世代の市民がサークル活動・スポーツ活動・会合等、コミュニティ活動の場として交流する拠点施設を整備する
- 1) 子育て支援施設（屋内）
 - 子育て世代が安心して気軽に利用できる交流の場
- 2) 子育て支援施設（屋外広場）
 - 子どもたちが遊んだりイベントのできる屋外広場

【市民活動イメージ】

- ・週末には、子育て世帯がお出かけ先として気軽に立ち寄れる場を提供し、孤立化が懸念される子育て世帯のパパ友、ママ友作りをサポートする
- ・交流エリアに隣接して設置された軽食コーナーで、安心して子どもを見守りながら、親同士が交流する
- ・子どもたちがボール遊びやバドミントン等を行い、休日に家族や友人と一緒に楽しむ
- ・子ども食堂の一環として子どもたちが集まって「道の駅」で作った料理を広場で楽しむ

【市民活動イメージ】

- ・子ども連れでも利用しやすい「道の駅」のトイレを利用するついでに、子どもが遊べる場所や親子で参加できるイベント等の情報を入手する
- ・「道の駅」に立ち寄った利用者が、市内や友好自治体の農産物や加工品の情報を見て、農産物直売・物販施設で買い物をする
- ・「道の駅」と大学が連携し、学生による HP やイベントポスター作成、SNS 等のスキルを活用した情報発信等を行う

② トイレ施設

- ユニバーサルデザインに配慮した明るく清潔なトイレ

④ 農産物直売・物販施設

- 日進市ならではの品揃えのショップ

【市民活動イメージ】

- ・農業者、農業団体、出荷者の協力により、出品物を使ったお勤めの調理法や伝統食等のレシピを提供する
- ・農業者、農業団体、出荷者による農産物や加工品、物販の開発商品を販売する

3) 公園

- 親子で楽しめる身近な公園

4) 多目的施設

- 様々な世代や団体が多様な活動を行う屋内施設
- 5) DMO 活動拠点（事務所）
 - 観光の活動拠点

【市民活動イメージ】

- ・子どもを自由に安全に遊ばせながら、親はカフェ・レストランで見守りつつ、ゆったりとくつろぐ
- ・子育て支援活動のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- ・各 NPO 等団体のイベントやスタッフの打合せの場として利用する
- ・市民が農を学ぶ学習場、農学校の教室として利用する
- ・DMO 事務所の活動拠点として利用され、観光活動の場としても利用される

【市民活動イメージ】

- ・車のない世帯や子どもたちが、くるりんばすに乗って気軽に「道の駅」を利用する
- ・日進市のまつりやイベントを開催し、市民が憩いの場として利用する
- ・利用者が SNS 等で情報発信したくなるような見栄えのする場所やおしゃれな飲食店等を戦略的に設置し、たくさんの人たちが SNS で「道の駅」や日進市のことを発信する

4. 施設規模

道路交通量、類似事例等を基礎として算定

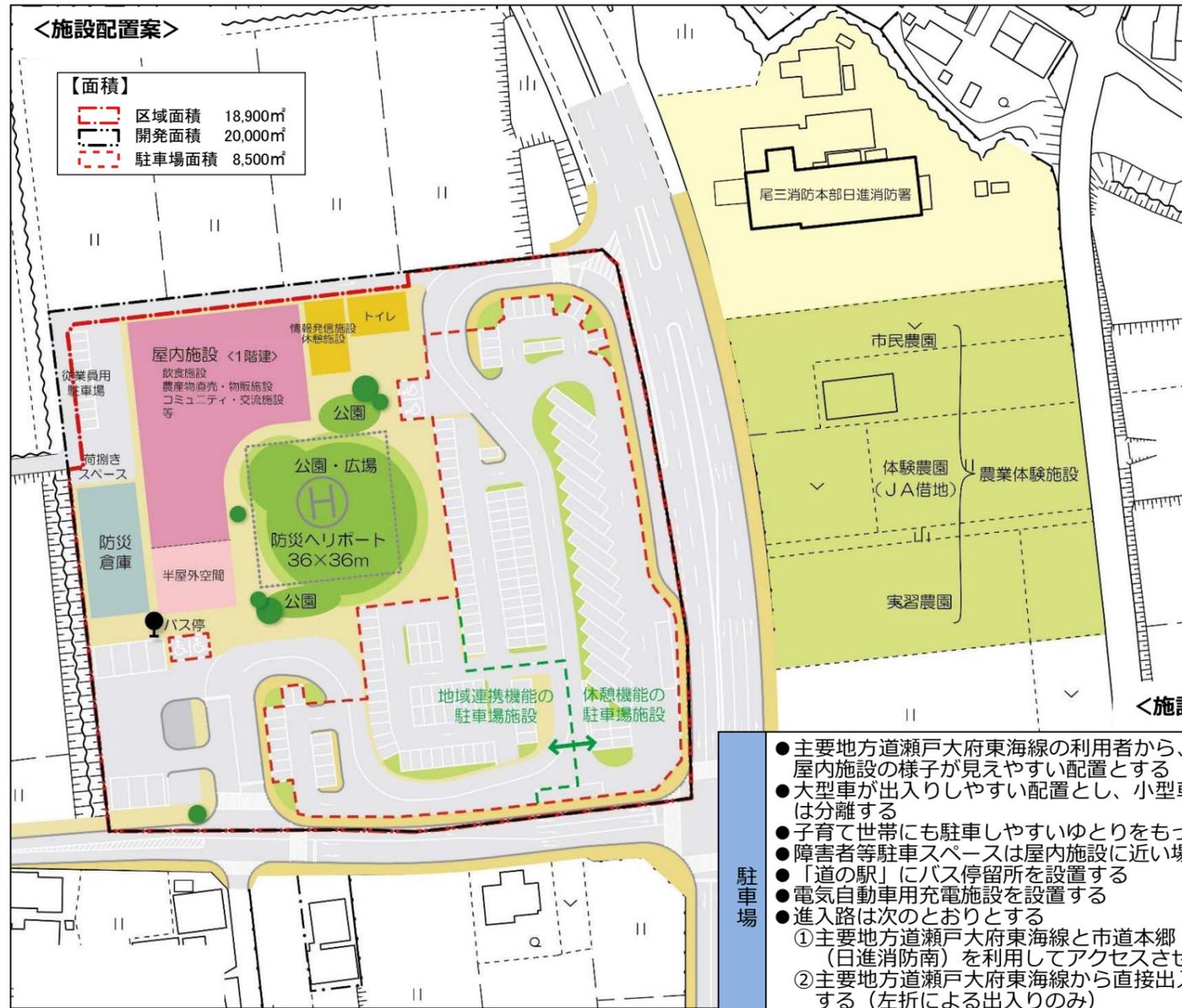
<規模算定結果>

機能名	施設名 (基本構想イメージ)	番号	具体施設名	施設規模 (m2)			備考
				敷地面積	屋外施設	屋内施設 (大規模 災害時等)	
休憩機能	駐車場施設	1	駐車場施設	約5,780	約5,780		小型車 80台 大型車 19台 身障者用 2台 計 101台
	トイレ施設	2	トイレ施設	約150		約150	
	休憩施設	3	休憩施設			約190	別棟、24時間利用可能
情報発信機能	情報発信施設	1	情報発信施設	約190		約190	
地域連携機能	駐車場施設	1	駐車場施設	約2,620	約2,620		小型車 63台 身障者用 2台 計 65台
	トイレ施設	1	トイレ施設	約150		約150	
	飲食施設	1	レストラン	約530		約530	厨房、食品倉庫等を含む
		2	軽食コーナー			約530	
	農産物直売・物販施設	1	農産物直売施設				
		2	物販施設	約570		約570	
		3	バックヤード				
	コミュニティ・交流施設	1	子育て支援施設 (屋内)	約300		約300	
		2	子育て支援施設 (屋外広場)	約1,500	約1,500		
		3	公園	約300		約300	
4		多目的施設	約200		約200		
5		DMO活動拠点 (事務所)	約100		約100		
6		管理施設等	約100		約100	「道の駅」管理事務所等	
防災機能	防災施設	1	救助救護場所	*		約5,000	平常時は駐車場
		2	防災ヘリポート	*		約1,296	平常時は広場・公園
		3	防災倉庫		約500	約500	
		4	耐震性貯水槽			約100	地下施設
		5	その他施設		-	-	自家発電装置、太陽光発電施設等
その他の機能	その他施設	1	くるりんばすのバス停 施設	約900		約900	後述の中間型B案による規模
		2	貯留施設			約1,312	地下貯留
		3	その他施設	約6,110	約6,110		外構、受水・電気室などの附帯施設等
計	小計(延面積)			-	約17,710	約2,290	約7,708
		合計		約20,000	約17,710	約2,290	約7,708

*: 大規模災害時に他施設と兼ねて利用

5. 配置計画

施設規模約 20,000 m²を整形の敷地にレイアウト



<施設配置の基本方針>

- 主要地方道瀬戸大府東海線の利用者から、駐車場の混雑具合や屋内施設の様子がしやすい配置とする
- 大型車が入りやすい配置とし、小型車と大型車の駐車スペースは分離する
- 子育て世帯にも駐車しやすいゆとりをもったレイアウトとする
- 障害者等駐車スペースは屋内施設に近い場所に設置する
- 「道の駅」にバス停留所を設置する
- 電気自動車用充電施設を設置する
- 進入路は次のとおりとする
 - ① 主要地方道瀬戸大府東海線と市道本郷・藤島線の信号交差点(日進消防南)を利用してアクセスさせる
 - ② 主要地方道瀬戸大府東海線から直接出入可能な出入口を設置する(左折による出入りのみ)
 - ③ 市道栄本郷線から市道本郷・藤島線を通り、南側から出入可能な出入口を設置する

6. 整備・管理運営手法

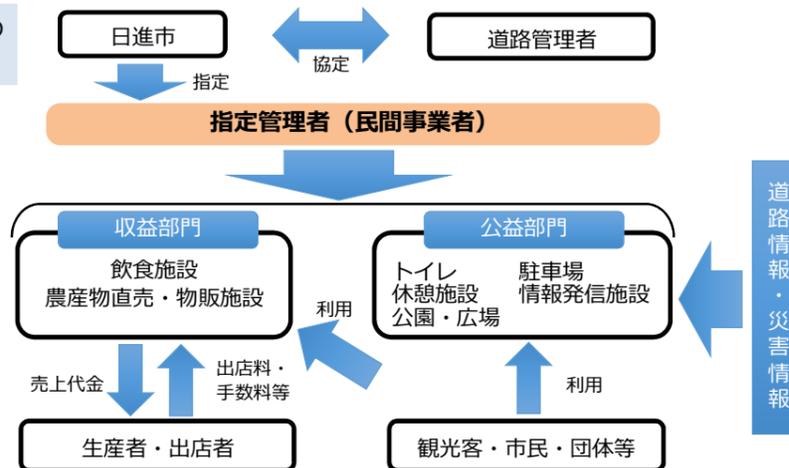
整備コンセプトの特徴を踏まえ、管理運営の基本方針、基本的な考え方・手法を検討

<管理運営の仕組み(案)>

「道の駅」は、公益性と収益性を併せ持つ施設であり、その施設の運営にあたっては民間ノウハウを最大限に活用し、収益性やサービス提供の質の確保を図っていくことが求められることから、**公設民営を前提に指定管理者制度による管理運営を検討する**

<整備・管理運営手法まとめ>

整備手法	管理運営	
	運営手法	運営者
一体型	公設	指定管理
		民間事業者



屋内施設

- 施設内動線を短くするため、分散配置することなくコンパクトに配置する
- 屋内施設への日当たりや冬期間の北西風に対応するため、屋内施設は南向きまたは東向きに配置することを基本とする
- 屋内施設は平屋建てもしくは2階建てとする
- イベント時の花火の眺望に配慮する

その他

- 農業体験施設は、主要地方道瀬戸大府東海線の東側にある既存施設を拡充する
- 子どもの遊び場、イベント利用等のためにまとまった公園・広場を確保する
- 防災拠点として、救助救護場所、防災ヘリポート、防災倉庫を設置する
- 防災イベントを開催できるよう防災倉庫に隣接してオープンスペースを設ける
- イベント時の花火の眺望を極力確保する施設配置を検討する

7. 概算事業費等

「道の駅」における概算事業費を試算

- ・ 「道の駅」における概算事業費は、現時点において試算すると、約 11 億円～約 16 億円(用地費含まず)を見込んでいる
- ・ 概算事業費については、今後の基本設計等における検討・調整により変更となることがある